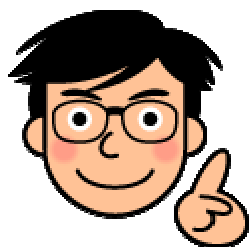


# 子どもと教師の信頼関係を大切にしよう！

日常生活やいろいろな場面で、友人や先生、その他の人とかかわりを持つことが大切である。人とかかわりを積み重ねることで、かかわるよさが実感できてくる。かかわる中で、自分や相手を見つめたり、自分や相手のよさをより深く知ったりすることができる。そのためにも子どもとの信頼関係を築いていくことが大切になってくる。



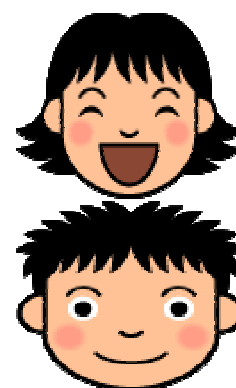
信頼関係をつくるのは先生にかかっている

先生

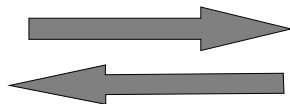


相手の立場にたった相互の関係が大切です。先生と子どもが体験を共有することが必要です

子ども



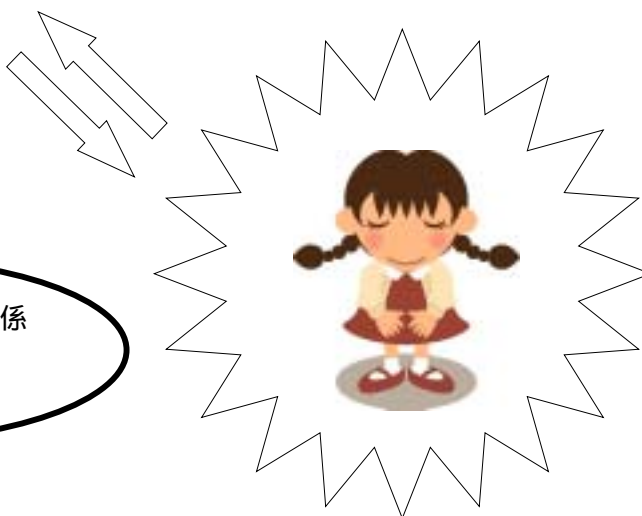
お互いに理解し合っていると



相互コミュニケーションが生まれ信頼関係ができる

お互いに理解し合えていないと

かかわりが少なく信頼関係ができない



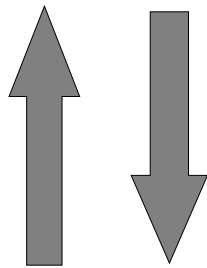
# 縦の関係から横の関係を強化しよう！

不登校の子どもは、学校や家で縦（先生と生徒、親と子ども）の関係が強いが、横（子ども同士）の関係が弱い。そこで、横の関係を強化する体験プログラムが有効となる。

先生



親

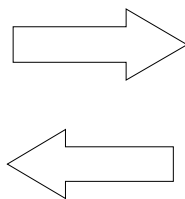


縦（生徒と先生、子どもと親）の関係が強い

かかわりの少ない子ども



子ども



横（子ども同士）の関係を広げる

子ども同士の かかわりを大切にしよう！

# 異年齢集団での関係作りから同年齢での関係作りへの発展

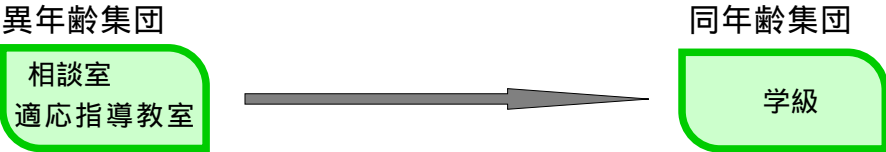
同学年同士の横の関係を作るには、養護教諭、相談室の先生、スクールカウンセラーや縦割り班活動など、斜めの関係を使いながら徐々に同学年同士の関係に広げていくとよいでしょう。時には、チューターとしての大学生も子どもが心を開き、活動できるきっかけになります。

\* 横の関係を強化するとき、斜めの関係を使うことも有効です。

縦の関係      斜めの関係      横の関係へと  
 スモールステップで関係を広げていきましょう！



大学生との連携・・・学校現場で外部（ボランティア）との連携や  
 異校種間交流を



## かかわりやすい活動からはじめてみよう！

いきなり教室復帰を目指すのではなく、子どもたちが参加しやすい活動からはじめ、徐々に学級へ近づけていくのがよいでしょう。

